

環境NPO支援事業

セブン-イレブンみどりの基金は、環境市民団体が新しい社会の担い手として活躍できるよう、市民が主体的に行っている地域の環境活動をさまざまな角度から支援しています。2007年度(平成19年度)は、資金面を支援する公募助成や、地域の環境NPOを支援する中間支援組織への支援、環境ボランティアリーダーのスキルアップを目的とした海外研修などを行いました。

◆ 公募助成制度

お客様からお預かりしている募金を地域の環境市民団体に助成金という形でお届けしています。2007年度は、団体の活動目的や内容に合わせて6種類の公募助成を行い、応募いただいた302団体の中から、151団体に8,876万85円の助成を行いました。2005年度、2006年度から継続して支援している助成先10件と合わせた助成件数は161件、助成金額は1億338万2710円でした。



NPO法人 エコプラス

2007年度(平成19年度)の公募助成

種類		主旨	件数	金額
環境市民活動助成	活動助成	活動に必要な資金を1年間助成し、広く市民の環境活動を支援	104件	70,915,140円
	NPO法人格取得助成	基盤強化のためにNPO法人格を取得し、継続的に活動を行っていく団体を3年間支援	4件	1,971,480円
	モデル事業助成	3年を目途に事業を完成し、他の環境NPO活動にも汎用できるモデル事業を支援	1件	2,000,000円
	自立事業助成	NPO法人が3年後に自立できる事業を確立し、財政的基盤を確保する間の事務局運営費を3年間継続して助成し、活動を支援	1件	3,600,000円
地域活動助成	植花活動助成	花の種・苗などの購入費用と活動広告用のチラシなどの作成費用を助成するとともに、有機肥料を現物支給	29件	8,914,124円
	地域清掃活動助成	清掃用具の購入費用と活動広告用のチラシなどの作成費を助成するとともに、軍手を現物支給	12件	1,359,341円
合計			151件	88,760,085円

※助成金額は2008年(平成20年)2月末日現在の金額です。上記の他、有機肥料(913,500円)・軍手(371,500円)の現物支給を行い、助成総額は90,045,085円となります。



人を自然に近づける川いらい会

● 対象活動分野 ●

1. 自然環境保護保全活動
2. 生態系保護保全活動
3. 体験型環境学習活動
4. 生活における環境負荷軽減活動

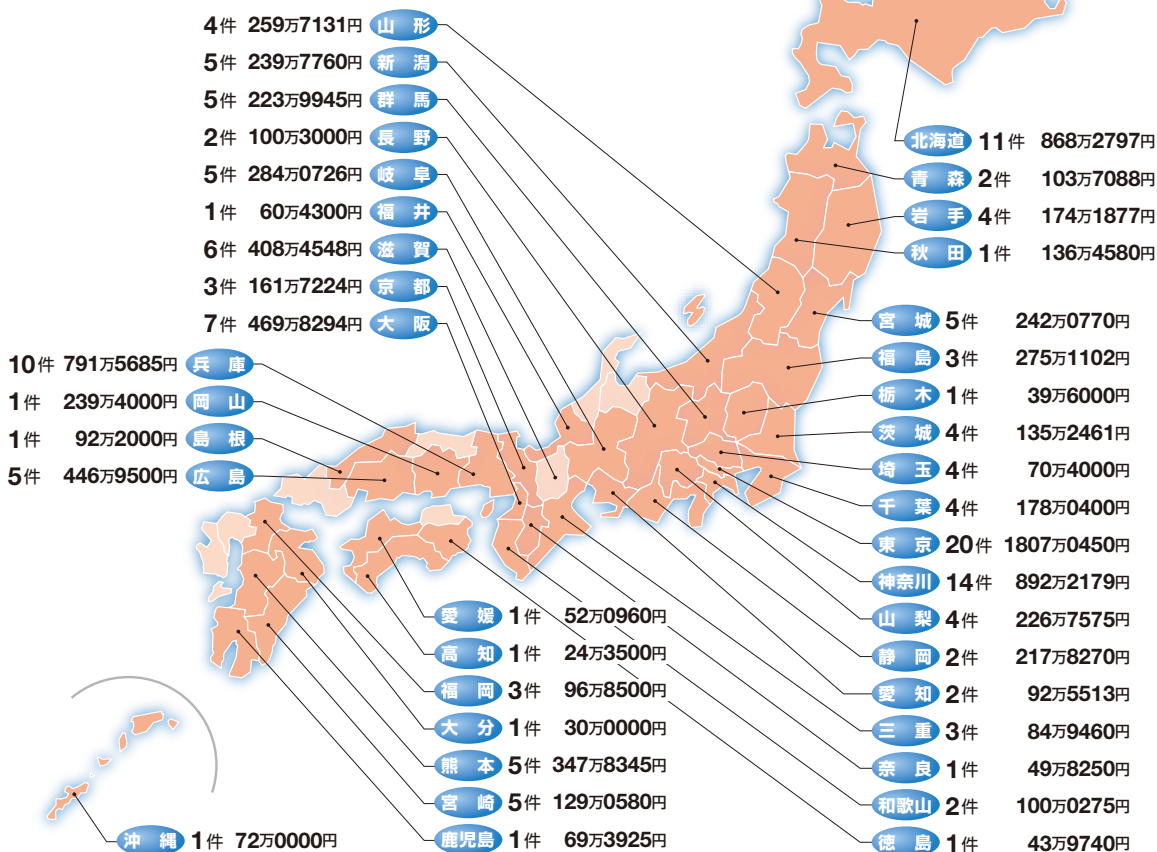
環境NPO支援事業：公募助成

2007年度（平成19年度）都道府県別の助成先件数・助成金額

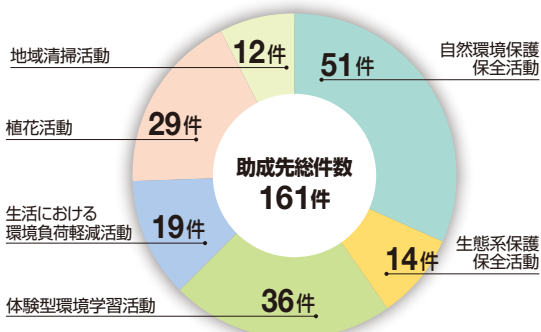
※2005年、2006年からの助成先を含む

助成先総数 **161件** 助成金額 **1億338万2710円**

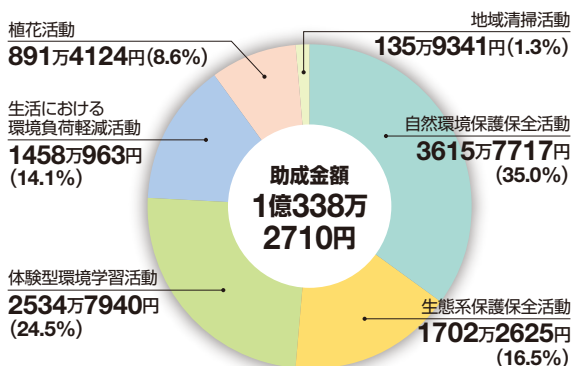
この他に、有機肥料・軍手の現物支給として128万5000円を助成しています。



活動分野別 助成先件数



活動分野別 助成金額



◆ 地域活動支援

地域の環境市民団体の「人・もの・資金・情報・ノウハウ・マネジメント・専門性」を相互に交流させ、それぞれの活動基盤強化を支援する中間支援組織の構築と活動を支援しています。2007年8月には、九州各県から有志が集まり、「環境活動支援センター九州設立準備会(仮称)」が設立され、九州地域のネットワークづくりが進んでいます。また、全国(札幌・岐阜・大阪・和歌山)で助成制度への理解を促す「環境市民活動助成金セミナー」や団体間の情報交流会などを地域の中間支援組織と共催しました。



第3回近畿の環境団体情報交流会(京都)

◆ 環境学習活動支援

「セブン-イレブンみどりの基金環境学習教室」を主催し、「環境」をテーマにした体験型環境学習を通じて、社会貢献活動への参加の機会を提供しました。2007年6月10日と7月22日には、「富士山清掃」を行い延べ66人が参加しました。10月6日には「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」の植樹フィールドで苗木の成長や秋の草木の観察会を行い23人が参加しました。



セブン-イレブンみどりの基金環境学習教室「富士山清掃」

◆ 環境ボランティアリーダー支援活動

海外の環境NPOから組織運営や活動技術を学ぶことを目的に環境活動のリーダーや、リーダーを目指す人々を公募し、「環境ボランティアリーダー海外研修」に派遣しています。

2007年10月には、70名の応募者の中から選ばれた6名のリーダーを9日間ドイツのラインラント・プファルツ州に派遣し、ドイツ最大の環境保護団体BUND(ドイツ環境保護連盟)などを訪れ、資金調達や人材育成、広報などの研修を行いました。



環境先進国といわれるドイツで研修

2008年2月2・3日には、浜松市でこれまでの海外研修に参加したメンバー47名のうち26名が全国から集まり「第2回環境ボランティアリーダー会議」を開催しました。会議では第10回の研修の成果報告や、会議の会場となった中田島砂丘のウミガメの保護活動を学びました。

また、同時に地域交流や政策提言を目指した「環境ボランティアリーダー会」が新たに発足し、市民による新しい地域社会づくりに向けた活動が開始されました。



第2回環境ボランティアリーダー会議